

2023年度（令和5年度）

学校関係者評価報告書

2023年6月

学校法人彰栄学園

彰栄保育福祉専門学校

2023年度 学校関係者評価報告書

学校法人彰栄学園 彰栄保育福祉専門学校は、2022年度の自己評価を基本とした学校関係者評価を実施いたしましたので、ここに報告します。

《本校の学校関係者評価について》

学校関係者評価は、学生・卒業生、関係業界・団体、教育業界、保護者・地域住民などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、「彰栄保育福祉専門学校 学校評価実施規程」に沿って学校が行った自己評価の結果について評価することを基本として行う評価です。

◆目的

本校の自己評価結果の客観性、透明性を高めるとともに、本校と密接に関係する学校関係者の理解促進や連携体制による学校運営の更なる改善、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上を図ることを目的とします。

◆自己評価・学校関係者評価の対象期間

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）

◆学校関係者評価委員会の委員構成

氏名	所属	選任区分
山本 慎介	わかたけかなえ保育園 園長 / 東京男性保育者連絡会 事務局長	業界団体関係者
津村 利治	彰栄幼稚園 園長	企業関係者
母里 一夫	東京都石神井学園	企業関係者
前田 和代	東京家政大学 準教授	教育関係者
鈴木 一伸	彰栄保育福祉専門学校 卒業生	卒業生

◆学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 2023年5月20日（会場 彰栄保育福祉専門学校）

【内容】

- ・2022年度自己評価に基づいた学校関係者評価（評価アンケートに基づく）
- ・学校関係者評価の確認、意見、改善点の取りまとめ など

◆学校関係者評価基準

- ①自己評価結果の内容は、適切か。
- ②自己評価結果を踏まえた今後の改善方策は、適切か。
- ③学校の重点目標や評価項目等は、適切か

◆評価点の点数の区分

- 4点：適切（な自己評価、に実施） 3点：概ね適切（な自己評価、に実施）
2点：やや不適切（な自己評価、に実施） 1点：不適切（な自己評価、に実施）

◆評価項目の状況

評価項目 基準1～10までの各委員からの評価の平均値及び意見、改善点などのコメントは次の通り

【基準1】教育理念、目的、人材育成像

評価項目	評価の平均値
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3.8
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界などの人材ニーズに適合しているか	3.8
1-1-3 理念などの達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.8
1-1-4 社会のニーズなどを踏まえた将来構想を抱いているか	3

【意見・改善点など】

- ・VUCAの時代と言われるが、学生世代が年々減少していくことは確実。前向きな将来構想が抱きづらい状況は続くと思われる。
- ・学校の教育理念・目標の記述について「～子育て支援や幼児教育に」の箇所ですが、保育士資格、幼稚園教諭免許取得、就職先、資格免許の内容を考えると「～子育て支援や乳幼児の保育・教育に携わる～」に文言を変えるとより対応した内容になると思います。
- ・こども家庭庁のスタートにより少子化、子どもの権利への取り組みについて、将来構想に目を向けても良いのかと思いました。

【基準2】学校運営

評価項目	評価の平均値
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	3.6
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.4
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.6
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3.6
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.8
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3.8
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.6

【意見・改善点など】

- ・中長期計画は、定期的または必要に応じて見直しを図ることを前提としたものであり、めまぐるしく変化するからこそ必要なものである。
- ・学生管理システムと教職員のデータの一元化について 現時点での活用について具体的にどのように活用されていますか。学生への還元や教職員の活用について検討が必要。

【基準3】教育活動

評価項目	評価の平均値
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.8
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.6
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.8
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3.6
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3.4
3-9-4 授業評価を実施しているか	3.4

評価項目	評価の平均値
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
3-10-2 作品及び技術などの発表における成果を把握しているか	3.6
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.75
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3.2
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3.6

【意見・改善点など】

- ・実施しているかについて理解できていません。
- ・キャリア教育の具体について 貴校が捉えるキャリア教育とは。
- ・「授業評価の実施についての教員の理解拡大が必要」との追記について、具体的に確認したい。
- ・3-12-1 以降教員の部分に関しては記載内容や年3回の会議出席ではみえない。より具体的な標記はもちろん、授業見学やその他の見学できる機会があると良い。

【基準4】学修成果

評価項目	評価の平均値
4-13-1 就職率の向上が図られているか	3.8
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	4
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3

【意見・改善点など】

- ・昨年の会議に参加させていただいて意識の高さが伺えました。
- ・卒業生の把握について今後の具体的な実施方法はいかがでしょうか。
- ・ICTの活用による卒業生に対する後追い調査を実施することで、学修成果の把握はより深まると思われる。
- ・卒業生の社会的評価は、学生募集においても重要。把握を目指しデジタル化などの方法を工夫していく必要がある。
- ・就職率100%は素晴らしい状況。学生募集のアピールポイントとして効果的に繋がられないか。

【基準5】 学生支援

評価項目	評価の平均値
5-16-1 就職など進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.6
5-17-1 退学率の低減が図られているか	3.4
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3.8
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	3.75
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.6
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.8
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3.2
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.2
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	3
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3.2
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3

【意見・改善点など】

- ・デリケートなところではあるが学生のバックグラウンドを把握しておく必要があるのかもしれませんが、留学生に対する支援はよくわかりません。相談できる卒業生であれば問題はないと思いますが、困り感を持っていて連絡がない方の支援は困難だと思います。
- ・成績保護者への郵送の検討について 実施予定でしょうか。
- ・社会人のニーズについて今後検討の予定はありますか。
- ・「退学率の下げ止まり」については、退学理由と関連付けて評価するフェーズに移行するタイミングと思う。
- ・「楽しい」学校生活を学生には感じてもらいたい。経済的不安を払拭することはもちろん、授業とは別の部分で（部活など）学生生活を満喫できるような環境作りは結果的に募集や退学率減少につながると思う。

【基準6】教育環境

評価項目	評価の平均値
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具などを整備しているか	3.4
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修などの実施体制を整備しているか	3.2
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.6
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.8

【意見・改善点など】

- ・歴史のある学校なので実習先は充実していることと思うが、海外研修の実績については理解できていません。
- ・6-23-1について、項目にインターンや海外研修と記載されているので、現状についてこれらにも記載されると良いと思います。
- ・保育者実習の目的や内容について、実習先との連携をより深めていく取り組みが望まれる。
- ・古い校舎の維持は難しいと感じる。その中で設備など整備を適切に行なっていると感じる。

【基準7】学生の募集と受入

評価項目	評価の平均値
7-25-1 高等学校など接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	3.6
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.6
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善などに活用しているか	3.6
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.8
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料などについて、適正な取扱を行っているか	3.8

【意見・改善点など】

- ・適切に運用されています。
- ・7-26-1に社会人入試について記載されているので、5-21-3とリンクできると良いと思う。
- ・7-26-2について 課題と解決方法の具体はいかがでしょうか。
- ・指定校推薦入試が一定の効果をあげていると思われる。

【基準8】 財 務

評価項目	評価の平均値
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.2
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.6
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.5
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	3.8
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.8

【意見・改善点など】

- ・学校運営の中期計画がない中で、財務・予算の中期計画が編成されていることに疑義がある。
- ・評価をするにあたっては資料が乏しい。

【基準9】 法令等の遵守

評価項目	評価の平均値
9-32-1 法令や専修学校設置基準などを遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.8
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.6
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.8
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	4
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	4
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.8

【基準 10】 社会貢献、地域貢献、国際交流

評価項目	評価の平均値
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.4
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	3.2
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.4

【意見・改善点など】

- ・2年の中での単位の取得とアルバイト、交友など時間がない中でのボランティア活動は余裕がないことと思います。

【全体に関する意見】

- ・中期計画の作成の困難さについて 財務では施設設備などについて周知したいとのこと、それらも含めての計画かと思しますので、やはり、ビジョンが必要かと思えます。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとして発展したこと、改善したことも多々あるので「元通りに戻す」ということにはならないと思うが、「元通り」をまったく知らない学生に対してどのようにアプローチしていくかが直近の課題となると思われる。
- ・コロナ対応が収束に向かう中、コロナ前の状況に戻していくことは大変だと思えますが、前向きな取り組みを期待します。

以上

学校法人 彰栄学園

彰栄保育福祉専門学校

〒112-0001 東京都文京区白山 4-14-15

TEL 03-3941-2613 FAX 03-3946-4710

<https://www.shoei.ac.jp/>